

## 回 答

団体名（日本労働組合総連合会大阪府連合会）

(要望項目)

## 4(3) HIV/AIDS 予防施策の徹底

2009年、大阪府での HIV ウィルスへの感染、新規患者数が 62 例と過去最多となっている。ここ数年大阪府では感染者数、患者数ともに増加傾向にあることから、HIV/AIDS への感染予防のための啓発の取り組みの徹底と、相談・検査体制の充実のための予算措置を講じること。

(回答)

HIV/AIDS のまん延防止のためには、正しい知識の普及啓発と HIV 検査の受検者のニーズに即した相談・検査体制の充実が重要と認識しております。

そのため、エイズ予防週間（11月28日から12月4日）における PR イベントの実施や保健所等での普及啓発活動、また NPO・NGO との協働による普及啓発活動を広く実施しており、今後とも厚生労働省や(財)エイズ予防財団、大阪市等行政、NPO 法人等とも連携して、HIV/AIDS に関する正しい知識の普及啓発に努めてまいります。

また、相談・検査体制の充実につきましては、保健所における相談・検査業務を継続して実施するとともに、NPO 団体に委託して実施する平日夜間・休日の相談・検査事業についても、受検者が受検しやすい立地場所、時間帯、曜日に配慮しながら、引き続き実施してまいります。

(回答部局課名)

健康医療部 保健医療室 地域保健感染症課